

平成30年度 新潟経営大学卒業式 学長式辞

本日ここに卒業される皆さんをお迎えし、平成30年度新潟経営大学の卒業証書・学位記授与式を挙行できますことは、本学にとって大きな慶びであります。皆さん、ご卒業おめでとうございます。

小池加茂市長、佐野田上町長をはじめご来賓の方々に対しましては、ご多忙の中をご出席賜りまして厚く御礼申し上げます。そして、何より、卒業生の皆さんを今まで見守り、育ててこられましたご家族・保護者の皆様には、本日この日を心待ちにしておられたことと存じます。誠におめでとうございます。皆様の本学へのこれまでの多大なご支援に心から感謝申し上げます。

皆さんは、この新潟経営大学で先生、職員、友人、先輩、後輩など多くの人と知り合い、切磋琢磨して本日を迎えられました。皆さん方の入学以来の勉学の積み重ねが、本日の学位記の授与につながったものであり、今までの皆さんの努力に敬意を表します。新潟経営大学を代表致しまして、心からのお祝いを申し上げたいと存じます。

本日の卒業生の中には、留学生の方もおられます。留学生の皆さんにあっては、遠く祖国を離れ、異なる言語、文化、習慣の壁を克服し新潟経営大学での学びを貫徹されました。これまでの皆さんのご努力に深く敬意を表します。これからは、日本そして本学で身に付けた知識や経験を母国の発展のために大いに役立てて頂きたいと思います。さらには、母国と日本との友好の懸け橋となることを期待しています。

さて、皆さんはこれから先、それぞれの職に就き、社会人として様々な道へ歩まれようとしています。新たな挑戦に臨むこととなります。皆さんが、これから歩まれる社会は、Internet of Things、人工知能、ロボットといった先端技術の発

達で、大きく変貌しようとしており転換期にあります。世界では第4次産業革命、日本ではSociety 5.0というようなことが言われていまして、生活環境や就業形態さらには価値観も大きく変化しようとしています。

また、「人生100年時代」とも言われるように、私たちとは違って皆さんの時代は50年以上働く、そして働き方も一生同じ会社に勤めるのではなく、転職することが当たり前になってくると思います。

大きく変わろうとするビジネス社会において生き抜いていくためには、変化対応力が必要となってきます。変化対応力を身に付けるためには、社会の変化にアンテナを張って常に学び続けることが必要です。日々の職務を誠実に実行する中で、高い倫理観と専門性を身に付け、自ら主体的に考え課題解決能力や新しい価値を提供する力を磨いていくことが、これからの予測不能な社会を生き抜くための力になると思います。

最後になりますが、新潟経営大学は、社会の変化に適合した教育を目指し、これからも地域の方々との対話を通して地域社会が必要とする学びを提供し、更なる発展に向けて挑戦を続けてまいります。卒業生の皆さんが社会で活躍されることは、母校である新潟経営大学の真の評価にもつながっていきます。

私は、皆さんの新たな船出に際して、これからも挑戦する心を失わず、常に学び豊かな人間関係を築き続けることを期待しています。皆さんが、夢と勇気と大志をもって来るべき社会を切り開き、さらに成長されますことを心から祈念致しまして、私の式辞の結びと致します。

平成31年3月16日

新潟経営大学 学長 堀 峰生